

長野高校 2 学年 SGH 通信	かかわ 五世界に繋る	金鷄ファイルに保存 第 10 号 (通算 36 号) 2016 年 7 月 28 日 (木)
------------------------	----------------------	--

～FWⅡ 終了～

FWⅡお疲れ様でした。雨にたたられてしまいましたが何とか無事に(?)終えることができました。4月から「文献調査・先行研究調査→課題仮説の設定→FWⅠ→課題発見→課題解決の仮説→FWⅡ」と続いてきた2学年課題研究もFWⅡをもって調査活動はひと段落といったところでしょうか。金鷄祭が終わってから、アポイントメントをとり、実施までの準備期間も十分に取れないままの実施となってしまいましたが、帰着報告をしてくれた生徒からは、「すっごく楽しかった」「思っていた以上の資料を用意してもらっていた」「雨の中、街頭でインタビューするのはとても大変だった」などといった感想が聞かれました。また、午後からのFWに備えて、班員全員が学校に集まって質問事項や課題解決の仮説を考えている姿も見られました。

今後は、FWⅡのまとめを行った後、4月からの課題研究全体のまとめを以下に述べるようなスケジュールと方法で行っていきます。

- ・「フィールドワーク報告書」は個人提出です。班員→班長→班担当の先生へ。
- ・「お礼状」は、SGH事業推進室へ提出。
- ・各班の撮影担当の人は撮った画像をSGH事業推進室までメールで送付してください。(sgh-naga@nagano-c.ed.jp)

～7月28日(木) 課題研究の時間について～

1) 時 間：7月28日(木) 13:10～13:40 2学年集会 (武道場)
13:40～15:30 課題研究の時間

2) 場 所：各HR教室、PC室、LL教室

3) PCの割振り：各班1台のPC利用を以下のように割り振ります。

PCを利用したい班は以下の教室で使用してください。

- ・1組、2組→PC室
- ・3組、4組→LL教室
- ・5組、6組、7組→社会科教室(15:15まで使用可) PCなどはLL教室から持参する。
- ・個人PCを持参する人は個人の管理下で責任を持って利用する。
- ・27日はPCの番号までは割り振りません。お互いに譲り合い、丁寧に扱ってください。
- ・USBが必要な班はSGH事業推進室まで取りに来てください。

4) 進め方

- ① 13:50 27日と同様、総合の授業でPC室を利用している班は奇数のクラス・LL教室を利用している班は偶数のクラスに集合する。

Case1 個人レポートの作成《作業1》

- ② 個人レポートの作成を行う。(裏面参照)

Case2 班発表pptの作成

- ② 班ごとに集合し、資料①pptの作成についてに目を通す
(pptの作成に習熟している生徒は読まなくてもよい)

- ③ 別紙(プレゼンテーションの構成を考えよう)を利用して、班発表pptの構成と役割分担を考える。(全体骨子が固まると、誰がどの部分を作成するのか…といった役割分担が可能になる)

～今後SGH事業関連の日程～

回	月日	時間	内容	
10	7月26日(火)	8:40～16:00	FWⅡ	
11	7月27日(水)	13:00～15:30	FWⅡのまとめ(課題解決に向けた提案の検証)	報告書・お礼状作成 個人研究骨子の作成
12	7月28日(木)	13:40～15:30	研究のまとめ pptの作成方法説明	個人:作文原稿 班:プレゼン骨子作成 (動機と結論の決定)
	8月26日(金)		個人レポート提出〆切	
	8月27日(土)	土セミ	個人レポート読み合わせ	班 ppt作成の役割分担
	9月1日(木)	LHR	班ppt作成準備	発表役割分担
13	9月6日(火) 7日(水)	総合学習⑦	研究のまとめ	ppt作成、原稿作成(英語原稿) →必ず班担当の先生に現状を報告する
	9月8日(木)	LHR		ppt作成、原稿作成
	9月29日	LHR	ppt作成	班内リハーサル
14	10月4日(火) 5日(水)	総合学習⑧	ppt発表準備/課題研究内容リハーサル	①班担当 ②教科or担任 ③他の班 の3回はリハを行い、コメントをもらう
	10月6日(木)	LHR	ppt手直し	
15	10月11日(火) 12日(水)	総合学習⑨	発表内容修正/課題研究発表会リハーサル	通しリハーサル(動きなどでプレゼンの質を高める)
16	10月13日(木)	午後	課題研究発表会	
17	11月1日(火) 2日(水)	総合学習⑩	台湾発表準備	個人発表用pptの作成
18	11月15日(火) 16日(水)	総合学習⑪	台湾発表準備	個人発表リハーサル
	12月28日(月)		台湾研修旅行	

～連絡～

○夏季休業中のSGHに関わるPC室解放

学校で作業をしたい人のために、以下の日程でPC室を開放します。

8月17日(水)～19日(金) 9:00～16:00

8月25日(木) 整理考査最終日 13:00～17:00

○台湾での学校交流の個人プレゼンは①My favorite Hot News Presentation ②My favorite Presentation II ③SGH Theme Presentation personal version(課題研究個人版)の予定です。台湾での現地高校生生徒との交流は貴重なフィールドワークの機会なので、課題研究以外でプレゼンを行う場合も交流の中で必ず課題研究の内容に関わるインタビューを行います。そこで、課題研究発表会は一部分でもよいし、全員でなくともよいので英語プレゼンを盛り込んでみましょう。帰国後は、台湾での経験を研究論文に盛り込みます。

○課題研究発表会(10月13日(木))について

今年度の2学年課題研究発表会は前半を分散会(予選)としてすべての班がプレゼンテーションを行い、後半は全体会(決勝)として予選を勝ち抜いた班から選抜された3班(予定)にプレゼンテーションを行ってもらいます。さらに、決勝進出班の中から“金鷄杯(仮称)”としてベストプレゼンテーショングループを決定したいと考えています。

そこで、校長先生、教頭先生以下、本校の豪華講師陣による特別指導を希望する班は9月6日(火)7日(水)総合⑦の授業内でアンケートを実施するので、本日(8月28日)の総合学習の時間を利用して、プレゼン指導を希望するかどうか相談しておいてください。また、総合⑦ではプレゼンの発表言語などについてもあわせてアンケート調査を実施する予定です。

～「課題研究レポートⅡ」を書こう！（全員）～

夏休みが明けたら10月の「課題研究（最終）発表会」までひと月余り！

納得できるプレゼンテーションをするためには3回はリハーサルが必要なこと、発表会までに2回の考査やクラスマッチがあることを考えれば、夏休み中にパワーポイントの原案と発表原稿の下書きを作ってしまう必要があります。

そこで、フィールドワークⅡまでの内容を個人レポートとしてまとめましょう。

- ・Word（PC室の個人フォルダ／Google Appsなど記録媒体への保存をこまめに。）
- ・字数制限：A4 1枚（ページ数ではなく、①1600字以内、または②2000字以上）
- ・提出方法：プリントアウトしたものをSGH事業推進室に提出
- ・〆切：8月26日（金）

夏休み明けの土セミでは、班の中で全員の読み合わせをして発表のやり方を考えていきます。

締切厳守！

～同じ内容で「小論文コンテスト」にも参加しよう！（希望者）～

「人に読んでもらうつもり」より、実際に「人に読んでもらう」方が質のアップに繋がります。それに、せっかく書いたレポートなのだから、同じ作品を「小論文コンテスト」にも出しましょう。

課題研究やフィールドワークは、みんなが思っているよりはるかに希少価値のある体験なので、率直に表現できれば高く評価されるはずです。

①「JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2016」（国際協力機構）

1600字以内。データ入力した「個人レポート」のテキスト（文章）だけを指定の書式に合わせて提出。やり方はSGH事業推進係が指示します。

②「第10回 青春のエッセー 阿部次郎記念賞」（東北大学）

1. 課題作品の部「地域を知る」

2,000～4,000字。「自分の体験や思いをもっと書きたい」「東北大文学部志望」「仙台に行ってみよう」…という人は、フィールドワークで感じたこと、考えたことなどを加えて担任に提出。入賞すると、東北大学が交通費、宿泊費を出して表彰式に招待してくれます。本校から例年、入賞者が出ていて、東北大学も期待しています。

訂正

ワークシート④に「書式」や「項目」を記載しましたが、今回の個人レポートは小論文コンテストへの出品も兼ねているため、以下のような形式で提出してください。